

(1) 教育長報告

| 年月日 | 曜 | 時刻 | 行事名 | 場所 |
|----------|---|-------|--|------------------------|
| 23/10/25 | 水 | 14:00 | 教育委員会定例会 | 都南分庁舎 教育委員会室 |
| 23/10/26 | 木 | 13:30 | 【協議会】教育長部会会議〈10/26-27 奥州市〉 | プラザイン水沢 |
| 23/10/27 | 金 | 9:00 | 【協議会】教育長部会会議研修視察〈10/26-27 奥州市〉 | 国立天文台水沢VLBI観測所・奥州宇宙遊学館 |
| 23/10/28 | 土 | 10:00 | R5盛岡市教育振興運動地区別集会(第V地区) | 盛岡劇場 |
| 23/10/29 | 日 | | | |
| 23/10/30 | 月 | 庁議終了後 | 令和5年度第1回盛岡市総合計画委員会 | 本庁舎 403会議室 |
| 23/10/31 | 火 | 11:00 | 県教委教育企画室長外1名来訪 | 都南分庁舎 教育長室 |
| 23/11/01 | 水 | 10:30 | R5第3回管内教育長会議並びに第2回管内学校教育担当課長会議 | サンセール盛岡 2階 桐華 |
| | | 13:30 | R5第2回管内公立小・中学校長会議 | サンセール盛岡 3階大ホール |
| 23/11/02 | 木 | 9:00 | 東北社会科教育研究協議会並びに岩手県社会科教育研究会盛岡大会提案授業 | 仁王小学校 |
| | | 11:30 | 東北社会科教育研究協議会並びに岩手県社会科教育研究会盛岡大会開会式・全体会 | 仁王小学校 |
| 23/11/03 | 金 | 9:00 | 河北小学校70周年記念式典 | 河北小学校 |
| | | 10:00 | 市勢振興功労者表彰式 | 中央公民館 講堂 |
| 23/11/04 | 土 | 11:00 | 第103回原敬忌追悼会 | 黄檗宗 福聚山 大慈寺 |
| 23/11/05 | 日 | 10:00 | もりおか郷土芸能フェスティバル開会式等 | キャラホール |
| 23/11/06 | 月 | 13:30 | 【協議会】岩手県国公立幼稚園・こども園協議会及び岩手県国公立幼稚園こども園PTA連絡協議会との懇談会 | 都南分庁舎 教育委員会室 |
| 23/11/07 | 火 | 9:40 | 黒石野中学校公開 | 黒石野中学校 |
| 23/11/08 | 水 | 11:00 | 教育委員会臨時会 | 都南分庁舎 教育委員会室 |
| | | 15:00 | 盛岡市防災会議 | 盛岡市勤労福祉会館5階大ホール |
| | | 18:30 | 令和5年度盛岡市小・中学校長会役員合同懇親会 | サンセール盛岡 |
| 23/11/09 | 木 | 10:00 | 令和5年度盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員等研修会 | サンセール盛岡 2階中ホール |
| | | 13:00 | 令和5年度「いわて教育の日」のつどい(盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員研修会) | 県民会館 |
| | | 17:00 | 盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員情報交換会 | サンセール盛岡1階 大ホール |
| 23/11/10 | 金 | 13:00 | 【協議会】令和5年度岩手県教職員表彰式 | 岩手県民会館大ホール |
| | | 15:30 | 県教委高校教育課長外1名来訪 | 都南分庁舎 教育長室 |
| 23/11/11 | 土 | 9:00 | 仁王小学校創立150周年記念式典 | 岩手県民会館大ホール |
| | | 10:00 | 仁王小学校創立150周年全校音楽集会 | 岩手県民会館大ホール |
| | | 17:30 | 仁王小学校創立150周年祝賀会 | アートホテル |
| 23/11/12 | 日 | | | |
| 23/11/13 | 月 | 庁議終了後 | 令和5年度第2回盛岡市環境基本計画推進委員会 | 本庁舎 403会議室 |
| | | 14:00 | 第4回市内校長・園長会議 | 都南分庁舎 研修室 |
| 23/11/14 | 火 | 13:30 | 岩手県学校教育ICT推進協議会(令和5年度第2回) | サンセール盛岡 3階大ホール |
| | | 15:15 | 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換② | サンセール盛岡 3階大ホール |
| 23/11/15 | 水 | 10:00 | 【協議会】令和5年度第2回岩手県いじめ問題対策連絡協議会 | 岩手県公会堂 |
| | | 15:00 | 日本赤十字社岩手県支部来訪 | 都南分庁舎 教育長室 |
| 23/11/16 | 木 | 13:30 | 【市長代理】第109回全国図書館大会岩手大会(オープニングアトラクション・開会式) | マリオス |
| | | 17:30 | 第109回全国図書館大会岩手大会(懇親交流会) | ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング |
| 23/11/17 | 金 | | | |

| 年月日 | 曜 | 時刻 | 行事名 | 場所 |
|----------|---|-------|----------------------------------|----------------|
| 23/11/18 | 土 | 10:00 | 渋民小学校150周年記念式典 | 渋民文化会館 |
| | | 13:00 | 渋民小学校150周年記念祝賀会 | サンセール盛岡 |
| | | 16:00 | 盛岡市PTA連合会年次表彰式 | サンセール盛岡 1階大ホール |
| | | 18:00 | 盛岡市PTA連合会年次表彰式祝賀会 | サンセール盛岡 1階大ホール |
| 23/11/19 | 日 | | | |
| 23/11/20 | 月 | 14:00 | 令和5年度第1回盛岡市総合計画審議会 | 本庁舎 8階大ホール |
| | | 16:15 | 市長表敬訪問/仙北中学校合唱 | 市長応接室 |
| | | 16:45 | 市長表敬訪問/下小路中学校女子駅伝 | 市長応接室 |
| | | 18:00 | 岩手県小学校長会先輩と語る会 | サンセール盛岡 |
| 23/11/21 | 火 | 13:30 | 令和5年度第2回社会教育委員会議 | 都南分庁舎 研修室 |
| 23/11/22 | 水 | | | |
| 23/11/23 | 木 | | | |
| 23/11/24 | 金 | 9:00 | 【協議会】第22回岩手県中学校総合文化祭開会セレモニー・舞台発表 | 岩手県民会館 大ホール |
| | | 13:00 | 【市議会】全員協議会 | 本庁舎 委員会室 |
| 23/11/25 | 土 | 10:10 | R5盛岡市教育振興運動地区別集会(Ⅶ地区) | 姫神ホール |
| 23/11/26 | 日 | | | |
| 23/11/27 | 月 | | | |
| 23/11/28 | 火 | 14:30 | 【協議会】第3回県立高等学校教育の在り方検討会議 | 岩手県水産会館 5階大会議室 |
| 23/11/29 | 水 | 14:00 | 教育委員会定例会 | 都南分庁舎 教育委員会室 |

(2) 令和6年「盛岡市二十歳のつどい」の開催について

1 趣旨

人生の節目である二十歳の式典を催すことにより、対象者の新しい門出を祝福するとともに、盛岡市の未来を担う市民としての自覚と、社会への参加意識を高める。

2 主催

盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡市二十歳のつどい実行委員会

3 日時

令和6年1月7日（日）午後2時開会（午後1時開場）

4 会場

盛岡タカヤアリーナ（盛岡市本宮五丁目4番1号 電話：658-1212）

5 参加対象者

市内在住又は過去に在住するなどの理由で、盛岡市二十歳のつどいに参加を希望するものであって、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた者

【令和6年盛岡市二十歳のつどい対象者数】（令和5年6月1日時点）

| 区分 | 対象者数（前年度比） | （参考）前年度対象者数 |
|----|---------------|-------------|
| 男 | 1,361人（-38人） | 1,399人 |
| 女 | 1,286人（-98人） | 1,384人 |
| 計 | 2,647人（-136人） | 2,783人 |

6 当日出席者数（見込み）

約2,000人（令和5年参加者数2,003人）

7 次第

(1) 記念式典（午後2時から2時30分まで）

- ・ 開式のことば 盛岡市二十歳のつどい実行委員長 菅原 那津
- ・ 国歌斉唱
- ・ 盛岡市民歌斉唱
- ・ 二十歳を祝うことば 盛岡市長 内館 茂
- ・ 励ましのことば 盛岡市議会議長 遠藤 政幸
- ・ 二十歳の決意 二十歳代表 大澤 蒼真 佐野 友菜
齊藤 莉得
- ・ 閉式のことば 盛岡市教育委員会教育長 多田 英史

(2) アトラクション（午後2時30分から3時00分まで）

【実行委員会による企画・運営（VTR上映等） テーマ「快晴」】

可能性に満ち溢れた二十歳の方々の未来を澄み渡る青空に例え、このテーマとした。また、「快晴」には人生の晴れの日を迎えるということや、未来への希望という意味も込められている。

8 協力団体

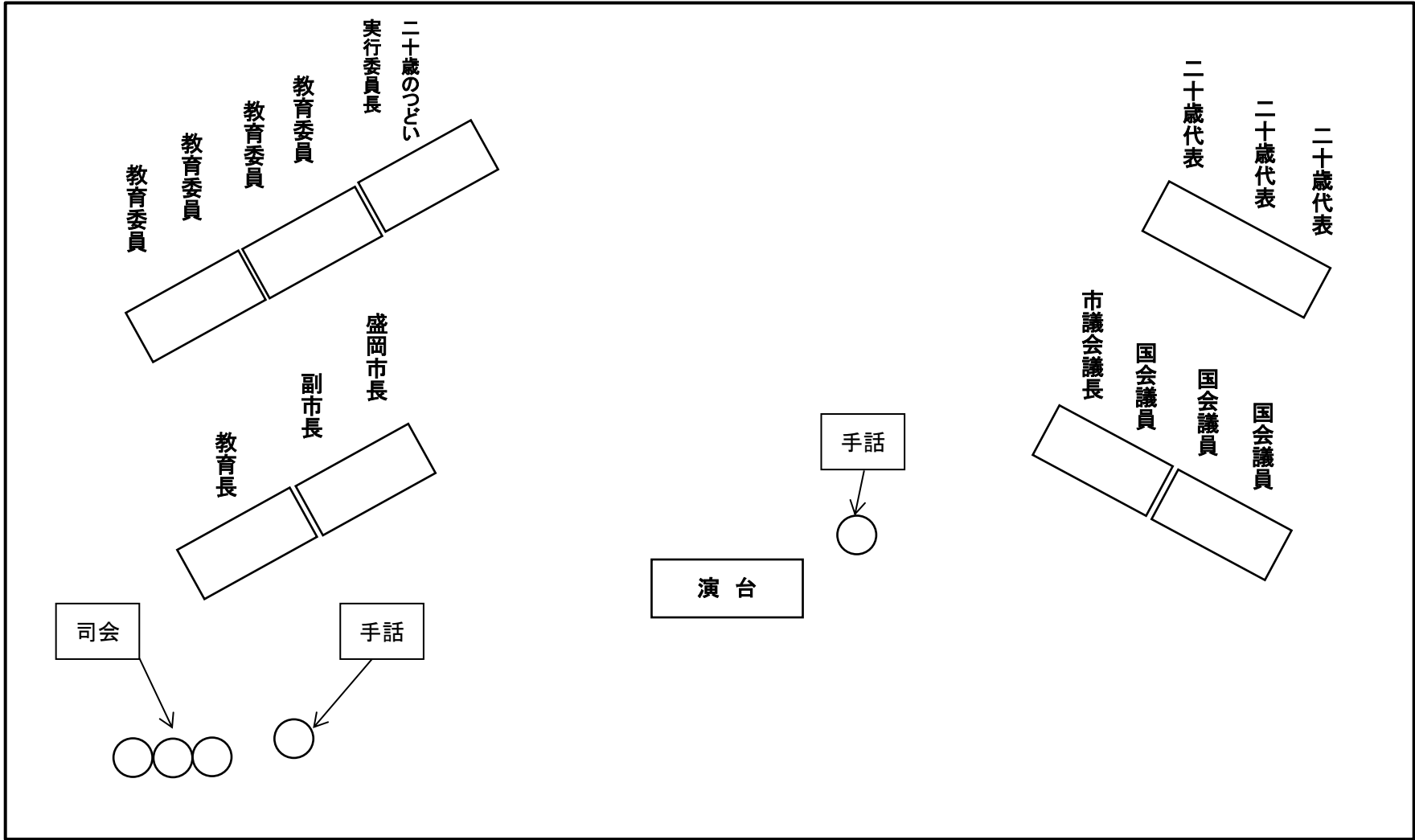
岩手県立視聴覚障がい者情報センター、岩手手話通訳問題研究会県北班、盛岡コメット混声合唱団、盛岡市少年指導員連絡協議会、盛岡市青年団体連絡協議会、盛岡市PTA連合会、一般財団法人民族衣裳文化普及協会、盛岡吹奏楽団

9 その他

- (1) 運営は、一般公募等による実行委員会（二十歳）8人、市及び教育委員会の協力体制により進める。
- (2) 式典・アトラクションの様相を令和6年1月15日（月）に配信する。

■壇上座席図

参考資料



議案第 25 号

令和 5 年度盛岡市教育委員会点検評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条の規定により、令和 4 年度に盛岡市教育委員会が実施した事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、別紙のとおり報告書を作成するものとする。

令和 5 年11月29日提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

提案理由

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しようとするものである。

令和5年度 行政評価結果

【第1巻 事後評価】

評価からはじめるまちづくり

令和5年12月

盛岡市

【施策評価(令和4年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

| | | |
|----------|--------------------|-----------------|
| 基本目標 | 2 | 盛岡の魅力があふれるまちづくり |
| 施策 | 11 | 歴史・文化の継承 |
| 施策主管部等 | 教育委員会 | |
| 評価責任者 | 渡邊 猛 教育部長 | |
| 評価シート作成者 | 下田 法子 教育委員会事務局教育次長 | |

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

| 施策の目的(総合計画実施計画から転記) | 施策評価全体を踏まえた評価責任者意見 |
|--|--|
| <p>地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるように、文化財の幅広い活用を図る。</p> | <p>地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりにとって、大切なことであり、更に市民の関心が高まるよう、企画展やイベント等について、創意工夫、改善し、意識啓発を図る必要がある。</p> <p>また、博物館等施設については、市民が関心を持ち、訪れてみたいと思う魅力的な施設であり続けるよう、計画的に企画展などの事業を展開するとともに、安全に利用していただくため、修繕・改修、整備を行う必要がある。</p> <p>今後も、市民が地域の歴史や文化に興味を持ち、文化財の大切さを認識するとともに、施設の来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から、施策展開に努めたい。</p> |

施策の概要

| 主な取組内容 |
|--|
| <p>文化財の保護については、指定となっている有形・無形の文化財の存続を図るとともに、無形民俗文化財保持団体への支援を行った。また、埋蔵文化財については、適切な調査・記録と保存・展示を行った。</p> <p>博物館等施設の整備・充実については、石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備において、建築・展示実施設計等を実施したほか、既存9施設の活用が図られるよう、新型コロナウイルス感染症対策の徹底とPR活動に取り組んだ。</p> |

| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | 意図(対象をどのようにしたいのか) |
|--------------------|---------------------------|
| 市民 | 地域に受け継がれている歴史や文化への関心が高まる |
| 文化財 | 地域に受け継がれている歴史や文化が保護、継承される |
| | |
| | |

施策の成果指標の状況・評価

| 実績値の推移 | | | | 進捗の評価 | | 実績値の推移 | | | | 進捗の評価 | |
|-------------------------------|---------------|-------|-------|--|-----|----------|--|-------|-------|---|------|
| 指標① | 文化財数(国・県・市指定) | 単 位 | 目指す方向 | ◎ 目標値に向け順調に推移 | | 指標② | まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合 | 単 位 | 目指す方向 | ○ 目標値に向け推移 | |
| | | 件 | ↗ | | | | | % | ↗ | | |
| 当初値(H25) | 270 | R1目標値 | 276 | R6目標値 | 281 | 当初値(H25) | 58.6 | R1目標値 | 61.8 | R6目標値 | 65.0 |
| <p>※H28実績値に誤りがあったため修正している</p> | | | | <p>・既存の文化財等は、保護のための環境、保存整備や調査、保存維持への助成や、保存継承団体への育成支援、活用などに取り組み、存続することができた。</p> | | | | | | <p>・盛岡城跡保存整備事業や埋蔵文化財調査事業、博物館等での歴史・文化財を活用した事業や現地説明会等の周知を図り、市民に学習機会を提供することができた。</p> <p>・まちづくりアンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合は、減少傾向にあるが、引き続き市民の歴史や文化への関心を高める事業に取り組む。</p> | |

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

| 小 施 策 | | 成果点・問題点 | 今後の方向性 |
|-------|--------------|---|--|
| 11-1 | 文化財の保護と活用 | <ul style="list-style-type: none"> 指定となっている有形・無形の文化財等を存続できた。 有形の文化財等は、周辺の環境も含め、適切な保存・修繕が難しくなっている。 無形民俗文化財は、深刻な後継者不足に直面している団体もあり、民俗芸能保持団体の特性に応じた対策が必要となっている。 埋蔵文化財の出土資料は、増え続けており、従来の施設には収まりきれず、仮設の施設にも仮置きしている状況である。 | <ul style="list-style-type: none"> 有形文化財等の保存・修繕のため、町内会等地元住民への協力要請を行うとともに、必要に応じて、支援や助言を行う。 盛岡市歴史的風致維持向上計画等に基づき、補助制度を活用しながら、文化財の保護と活用に取り組む。 民俗芸能保持団体の後継者不足については、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携し、地域の子どもたちに民俗芸能への興味を持ってもらう機会を提供するなど、後継者の育成を支援します。 また、民俗芸能を紹介するPR動画を活用し、YouTubeやSNS等により、踊りの魅力を全世界に向け発信するほか、盛岡市芸術文化ポータルサイトに団体やイベントの情報を掲載し、民俗芸能の周知を図る。 埋蔵文化財発掘調査に伴い、増え続ける出土資料について、保管に適した空き教室を利用するなど、収蔵場所の確保を図る。 文化財保存活用地域計画の策定に向けて、未指定の文化財も含め、文化財をまちづくりに生かしつつ、地域社会との協働でその承継にどのように取り組むか等、協議・検討・調査を進める。 |
| 11-2 | 博物館等施設の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響から、9施設の殆どの施設で入館者数がコロナ禍以前と比較して減少傾向にあったが、各館で手洗い、消毒、検温等、感染症対策の徹底を図りながら、館のPR活動に取り組んだことにより、令和3年度と比較して、約75%増加に転じた。 各博物館等施設においては、老朽化が進行しており、バリアフリー化など利用者の安全性・利便性の向上を図る必要が生じている。 石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備については、建築・展示実施設計、地質調査、旧石川啄木記念館解体工事を実施した。また、整備に係る市民意見を聴取するため、整備検討懇話会やワーキンググループ等を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 博物館施設の活用が図られるよう、魅力あるイベント等を開催するほか、効果的なPR活動を行う。 博物館施設については、いずれも老朽化が進行していることから、改修等の必要性や緊急性を考慮し、利用者の安全確保及び利便性の向上が図られるよう、計画的に対応する。 石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備については、施設計画、展示方法等を精査し、意見調整を行った上で、実情に即した施設を整備する。 「文化財保存活用地域計画」や「地域における文化観光の推進に関する法律」における地域計画等の策定に向け、博物館等施設での保存・活用のあり方を検討する。 博物館等施設の修繕や改修、展示施設の更新等に係る財源として、国の財政的な支援制度のほか、ふるさと納税やクラウドファンディングの制度等の活用について検討を行う。 |

【施策評価(令和4年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

| | | |
|----------|--------------------|-----------------|
| 基本目標 | 3 | 人を育み未来につなぐまちづくり |
| 施策 | 17 | 子どもの教育の充実 |
| 施策主管部等 | 教育委員会 | |
| 評価責任者 | 渡邊 猛 教育部長 | |
| 評価シート作成者 | 下田 法子 教育委員会事務局教育次長 | |

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

| 施策の目的(総合計画実施計画から転記) | 施策評価全体を踏まえた評価責任者意見 |
|--|--|
| 子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図る。 | 小中学生の学力及び体力運動能力については、なお課題があることから、要因を分析し、取組方法を研究しながら、引き続き全学的な取組を展開していく必要がある。 幼稚園教育は、保護者の満足度は高いものの、園児数の減少により集団生活を通じた資質・能力の育成が困難などの課題が生じていることから、今後の在り方について保護者や地域住民と認識を共有し対応する必要がある。 高等学校教育は、キャリア教育や深い学びを実現する授業改善などにより社会を担う人材育成に努めているが、今後は更に、他校との差別化を図ることによる特色ある学校運営が求められており取組を進める。 教職員研修の満足度は高く、自らの資質向上やスキルアップを求めていることから、期待に応える効果的な研修の取組が必要である。 学校施設の整備・充実については、限られた財源の中で常に優先順位を意識しながら計画的に取り組んでおり、今後においても、着実な事業実施により、児童生徒のみならず地域からも愛される学校づくりを進めていく。 |

施策の概要

| 主な取組内容 |
|--|
| <p>・教員の指導力向上のための取組を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めた。また、スクールアシスタント68名や不登校対策相談員15名を配置し、個別に配慮が必要な児童生徒への支援に取り組んだ。</p> <p>・学校施設について、校舎の大規模改修工事、校舎トイレ改修工事、屋内運動場トイレ環境整備及び校舎の安全対策修繕を行ったほか、施設の適切な維持保全に努めた。また、令和5年3月に「盛岡市小中学校水泳プール対応方針」を策定した。</p> |

| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | 意図(対象をどのようにしたいのか) |
|--------------------|---|
| 幼児 | 健やかな成長が図られている。 |
| 小中学生 | 学力の向上が図られている。 心身ともに健全な育成が図られている。 |
| 高校生 | 学力の向上が図られている。 生徒一人一人の希望に沿った進路の実現が図られている。 |
| 教員 | 誠実公正でかつ指導力が向上されている。 |
| 小中学校施設等 | 充実した教育環境に整備され、良好に保たれている。 |

施策の成果指標の状況・評価

| 実績値の推移 | | | 進捗の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|----|----|----|----|----|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|-------|
| 指標① | 小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:国語】 | 単位:ポイント 目指す方向:↗ | △ 遅れが生じている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 110.6 | R1目標値 | 113.0 | R6目標値 | 113.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <caption>Indicator 1 Data</caption> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>値</th><td>110.6</td><td>110.4</td><td>110.6</td><td>111.0</td><td>109.2</td><td>107.6</td><td>110.0</td><td>107.6</td><td></td><td>106.2</td></tr> </table> | | | | | | 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 値 | 110.6 | 110.4 | 110.6 | 111.0 | 109.2 | 107.6 | 110.0 | 107.6 | | 106.2 |
| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 値 | 110.6 | 110.4 | 110.6 | 111.0 | 109.2 | 107.6 | 110.0 | 107.6 | | 106.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の全国比では、「読むこと」領域の全国比が109、「話すこと・聞くこと」領域が108、「書くこと」領域が113となっており、いずれも全国平均を上回っている。 ・誤答率が5割以上である小問内容4項目のうち、2項目が「書くこと」領域の内容である。 ・目的や条件を踏まえて書く活動が不足しており、適切に表現する力が不足していると考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標② | 小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:算数】 | 単位:ポイント 目指す方向:↗ | △ 遅れが生じている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 108.4 | R1目標値 | 110.0 | R6目標値 | 110.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <caption>Indicator 2 Data</caption> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>値</th><td>108.4</td><td>107.4</td><td>107.0</td><td>108.2</td><td>106.0</td><td>106.2</td><td>106.0</td><td>106.0</td><td></td><td>104.8</td></tr> </table> | | | | | | 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 値 | 108.4 | 107.4 | 107.0 | 108.2 | 106.0 | 106.2 | 106.0 | 106.0 | | 104.8 |
| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 値 | 108.4 | 107.4 | 107.0 | 108.2 | 106.0 | 106.2 | 106.0 | 106.0 | | 104.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「図形」領域の全国比が106、「数と計算」領域が109、「量と測定・データの活用」領域が104となっており、いずれも全国平均を上回っている。 ・誤答率が5割以上である小問内容2項目は、いずれも「図形」領域の内容である。 ・「関連付けて考える」学習活動の不足から、図形の性質や図形の作図の根拠の理解不足が考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標③ | 小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:国語】 | 単位:ポイント 目指す方向:↗ | △ 遅れが生じている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 103.8 | R1目標値 | 107.0 | R6目標値 | 107.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <caption>Indicator 3 Data</caption> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>値</th><td>103.8</td><td>105.0</td><td>105.8</td><td>104.6</td><td>104.4</td><td>104.2</td><td>105.2</td><td>104.2</td><td></td><td>102.0</td></tr> </table> | | | | | | 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 値 | 103.8 | 105.0 | 105.8 | 104.6 | 104.4 | 104.2 | 105.2 | 104.2 | | 102.0 |
| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 値 | 103.8 | 105.0 | 105.8 | 104.6 | 104.4 | 104.2 | 105.2 | 104.2 | | 102.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」の全国比が102、「書くこと」領域が102、「読むこと」領域が106となっており、いずれも全国平均を上回っている。 ・様々な文章を読むことをとおして、文の構成や文脈を理解したり、表現技法を理解しながら、文節、品詞などを確認する学習活動が不足していることが考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標④ | 小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:数学】 | 単位:ポイント 目指す方向:↗ | △ 遅れが生じている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 102.2 | R1目標値 | 105.0 | R6目標値 | 105.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <caption>Indicator 4 Data</caption> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>値</th><td>102.2</td><td>101.4</td><td>102.2</td><td>103.0</td><td>102.2</td><td>102.6</td><td>102.8</td><td>103.6</td><td></td><td>98.8</td></tr> </table> | | | | | | 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 値 | 102.2 | 101.4 | 102.2 | 103.0 | 102.2 | 102.6 | 102.8 | 103.6 | | 98.8 |
| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 値 | 102.2 | 101.4 | 102.2 | 103.0 | 102.2 | 102.6 | 102.8 | 103.6 | | 98.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、各領域の正答率を見ると「図形」領域が106、「データの活用」領域が101となっており、全国平均を上回っている。 ・各領域の正答率の「数と式」領域が全国比92、「関数」領域が95となっており、全国平均を下回っている。 ・生徒が「数学的な見方・考え方」を働かせて、論理的、統合的・発展的に考える機会や、表・式・グラフを関連させながら事象について考察したり表現したりする機会が不足していると考えられる。目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取る学習の機会が不足していることが考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標⑤ | 小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:英語】 | 単位:ポイント 目指す方向:↗ | △ 遅れが生じている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 103.2 | R1目標値 | 105.0 | R6目標値 | 105.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <caption>Indicator 5 Data</caption> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>値</th><td>103.2</td><td>104.2</td><td>104.2</td><td>103.4</td><td>104.0</td><td>102.6</td><td>105.0</td><td>104.2</td><td></td><td>97.6</td></tr> </table> | | | | | | 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 値 | 103.2 | 104.2 | 104.2 | 103.4 | 104.0 | 102.6 | 105.0 | 104.2 | | 97.6 |
| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 値 | 103.2 | 104.2 | 104.2 | 103.4 | 104.0 | 102.6 | 105.0 | 104.2 | | 97.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均よりやや低い水準であった。各領域の正答率では、「書くこと」領域の全国比が94、「聞くこと」領域が96、「話すこと」領域が98、「読むこと」領域が97となっており、いずれも全国平均を下回っている。 ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の全領域でバランスのとれた指導の継続が必要と考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標⑥ | 体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:男】 | 単位:ポイント 目指す方向:↗ | ○ 目標値に向け推移 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 97.8 | R1目標値 | 101.0 | R6目標値 | 101.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <caption>Indicator 6 Data</caption> <tr><th>年度</th><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr><th>値</th><td>97.8</td><td>99.7</td><td>97.8</td><td>97.6</td><td>97.9</td><td>95.8</td><td>95.3</td><td>95.9</td><td></td><td></td></tr> </table> | | | | | | 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 値 | 97.8 | 99.7 | 97.8 | 97.6 | 97.9 | 95.8 | 95.3 | 95.9 | | |
| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 値 | 97.8 | 99.7 | 97.8 | 97.6 | 97.9 | 95.8 | 95.3 | 95.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査 ・新型コロナウイルス感染症拡大後の体力低下が鮮明となっているが、令和3年度と令和4年度の全国標準値と比較すると、上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)、ソフトボール投げ(投力)の体力の向上がみられる。 ・対象児童の過去の体力調査結果と比べると、握力(筋力)、長座体前屈(柔軟性)、50m走(スピード)、立ち幅跳び(瞬発力)、ソフトボール投げ(投力)は、改善が図られてきているが、全国標準値を下回っている現状である。 ・登下校時の保護者による送迎が増えてきたことも要因の一つと考えられる。 ・コロナ禍において、マスク着用により、全身を激しく動かす機会が減少したことが要因の一つと考えられる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 実績値の推移 | | | | 進捗の評価 | | | |
|-----------|----------------------------------|------------|------------|---|-------|--|--|
| 指標⑦ | 体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:女】 | 単位 ポイント | 目指す方向 ↗ | △ 遅れが生じている ・50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査 ・新型コロナウイルス感染症拡大後の体力低下が鮮明となっているが、令和3年度と令和4年度の全国標準値と比較すると、上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、反復横跳び(敏捷性)、20mシャトルラン(全身持久力)の体力の向上がみられる。 ・対象児童の過去の体力調査結果と比べると、50m走(スピード)が全国標準値を下回っている現状である。 ・登下校時の保護者による送迎が増えてきたことも要因の一つと考えられる。 ・コロナ禍において、マスク着用により、全身を激しく動かす機会が減少したことが要因の一つと考えられる。 | | | |
| 当初値 | 25.0 | 100.5 | R1目標値 | | | | |
| | | | | | | | |
| 指標⑧ | 体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:男】 | 単位 ポイント | 目指す方向 ↗ | △ 遅れが生じている ・50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査 ・新型コロナウイルス感染症拡大後の体力低下が鮮明となっているが、令和3年度と令和4年度の全国標準値と比較すると、上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、ハンドボール投げ(投力)の体力の向上がみられる。 ・対象生徒の過去の体力調査と比べると、上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)、50m走(スピード)、20mシャトルラン(全身持久力)、立ち幅跳び(瞬発力)が全国標準値を下回っている現状である。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、運動時間が減少したことが要因の一つと考えられる。 ・コロナ禍において、マスク着用により、全身を激しく動かす機会が減少したことが要因の一つと考えられる。 | | | |
| 当初値 (H25) | 100.4 | 100.4 | R1目標値 | | | | |
| | | | | | | | |
| 指標⑨ | 体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:女】 | 単位 ポイント | 目指す方向 ↗ | △ 遅れが生じている ・50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査 ・新型コロナウイルス感染症拡大後の体力低下が鮮明となっているが、令和3年度と令和4年度の全国標準値と比較すると、握力(筋力)、上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、反復横跳び(敏捷性)、20mシャトルラン(全身持久力)、50m走(スピード)、ハンドボール投げ(投力)の体力の向上がみられる。 ・対象生徒の過去の体力調査と比べると、上体起こし(筋力・筋持久力)、50m走(スピード)が全国標準値を下回っている現状である。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、運動時間が減少したことが要因の一つと考えられる。 ・コロナ禍において、マスク着用により、全身を激しく動かす機会が減少したことが要因の一つと考えられる。 | | | |
| 当初値 (H25) | 100.2 | 100.2 | R1目標値 | | | | |
| | | | | | | | |
| 指標⑩ | | 単位 | 目指す方向 | | | | |
| 当初値 (H25) | | | R1目標値 | | R6目標値 | | |

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

| 小 施 策 | 成果点・問題点 | 今後の方向性 |
|-----------------------|---|--|
| <p>17-1 小中学校教育の充実</p> | <p>○学力 1 小学校4年生 ・盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」を位置付けた授業が浸透してきた。 ・児童生徒質問紙調査(5・6年生)において、家庭学習に1時間以上取り組んでいると回答する児童が県及び全国平均を上回る状況が継続している。 (1)国語 ・誤答率が5割以上である小問内容4項目のうち、2項目が「書くこと」領域の内容である。 ・目的や条件を踏まえて書く活動が不足しており、適切に表現する力が不足している。 (2)算数 ・誤答率が5割以上である小問内容2項目は、いずれも「図形」領域の内容である。 ・「関連付けて考える」学習活動の不足から、図形の性質や図形の作図の根拠の理解が不十分である。 2 中学校2年生 ・盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」を位置付けた授業が浸透してきた。 ・児童生徒質問紙調査(3年生)において、家庭学習に1時間以上取り組んでいると回答する生徒が全国平均をやや下回る状況があるものの、学習と部活動とのバランスが図られている。 (1)国語 ・誤答率が5割以上である小問内容10項目のうち、7項目が「読むこと」領域の内容である。 ・様々な文章を読むことをとおして、文の構成や文脈を理解したり、表現技法を理解しながら、文節、品詞などを確認する学習活動が不足している。 (2)数学 ・各領域の正答率の「数と式」領域が全国比92、「関数」領域が95となっており、全国平均を下回っている。 ・生徒が「数学的な見方・考え方」を働かせて、論理的、統合的・発展的に考える機会や、表・式・グラフを関連させながら事象について考察したり表現したりする機会が不足している。目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取る学習の機会が不足している。 (3)英語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均よりやや低い水準であった。各領域の正答率では、「書くこと」領域の全国比が94、「聞くこと」領域が96、「話すこと」領域が98、「読むこと」領域が97となっており、いずれも全国平均を下回っている。 ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の全領域でバランスのとれた指導の継続が必要である。</p> <p>○体力運動能力 1 小学校5年生 (男子) ・対象児童の過去の体力調査結果と比べると、握力(筋力)、長座体前屈(柔軟性)、50m走(スピード)、立ち幅跳び(瞬発力)、ソフトボール投げ(投力)は、改善が図られてきているが、全国標準値を下回っている現状である。 (女子) ・対象児童の過去の体力調査結果と比べると、50m走(スピード)が全国標準値を下回っている現状である。 2 中学校2年生 ・体育の授業での運動量確保や、成長期にある生徒が、運動、食事、休養、睡眠のバランスの取れた生活を送ることができることにより、基礎体力の強化が図られていることが要因の一つと考えられる。 (男子) ・対象生徒の過去の体力調査と比べると、上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)、50m走(スピード)、20mシャトルラン(全身持久力)、立ち幅跳び(瞬発力)が全国標準値を下回っている現状である。 (女子) ・対象生徒の過去の体力調査と比べると、上体起こし(筋力・筋持久力)、50m走(スピード)が全国標準値を下回っている現状である。</p> | <p>○学力 ・校内研究会等において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」の学習活動の意味・意義の説明を繰り返すとともに、目的や条件を踏まえて書く活動、適切に表現する学習活動に重点を置きながら「考えを深める学び合い」の保障等「児童生徒一人一人に資質・能力を育成することを旨とした授業改善」につながる具体的な指導・助言を行う。 ・「各種学力調査における誤答や無回答の要因を分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させる。 ・各学校の改善に向けた取組事例を共有しながら、児童生徒の学力向上を図る。 ・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。 ・GIGAスクール構想に基づき、令和3年度に全小中学校に導入した一人一台端末に加え、令和5年度導入のAI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。</p> <p>○体力運動能力 1 小学校 ・60プラスプロジェクト(「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活」)とも関連させながら、体力向上及び肥満予防・改善を図っていく。 ・体力向上に向けた指導方法や実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に浸透させながら体力向上を図っていく。 ・「体力向上」について、研究員研究を行い、研究発表会で発表を行う。 ・体育の授業等で取り組むウォーミングアップを浸透させながら体力向上を図っていく。(ウォーミングアップDVDの活用) 2 中学校 ・60プラスプロジェクト(「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活」)とも関連させながら、体力向上及び肥満予防・改善を図っていく。 ・体育の授業や、部活動を通して、ウォーミングアップの重要性を理解させ、正しい身体の使い方を習得させることで、基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に向けた指導方法や実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に浸透させながら体力向上を図っていく。 ・「体力向上」について、研究員研究を行い、研究発表会で発表を行う。 ・体育の授業等で取り組むウォーミングアップを浸透させながら体力向上を図っていく。(ウォーミングアップDVDの活用)</p> |

| 小 施 策 | | 成果点・問題点 |
|-------|------------|---|
| 17-2 | 幼稚園教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解に基づく個の特性に応じた指導や、異年齢のつながりを重視した教育活動に努めるとともに、幼稚園から保護者に対し積極的な情報発信に取り組むことにより、保護者の満足度は高い水準を保っている。 保育所のニーズが高まり、保育料の無償化のほか、地域内における私立幼稚園の複数設置などの状況から、園児数の減少が顕著である。各幼稚園では、園児の減少に伴い集団が小規模となり、幼児同士の人間関係の固定化や体験できる遊びの限定など、集団生活を通して身につけなければならない社会性をはぐくむ教育環境を確保することが難しい状況となっている。 |
| 17-3 | 高等学校教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が、志望する大学や専門学校に進学するとともに、19年連続就職率100%を達成している。 進学率、就職率の向上に向けた取組を充実させるとともに、社会構造や雇用環境が大きく、急速に変化する時代においても、社会的・職業的に自立し、社会の担い手となる人材の育成に向けた教育の充実が求められている。 確かな学力を身に付けさせ、安定的に進路目標を実現できる生徒の育成に関して、授業やその他の教育活動の充実が求められている。 |
| 17-4 | 教職員研修の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、各講座に定員を設けて開催したが、目標値を超える参加者数となった。 参加者アンケートでは、満足度は高い(4段階評価のうち3と4が多く、平均3.73)。 満足度の向上は、研修講座の内容が教員のニーズと合致することが大切であり、今後もこの視点から講座内容を検討していく必要がある。また、開催時期の検討も、県教育委員会による研修をはじめとする他の事業との調整を、可能な限り行っていく必要がある。 |
| 17-5 | 学校施設の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 学校校舎の大規模改修工事を完了させ、屋内運動場改修工事実施設計を完了した。 学校校舎のトイレ改修工事を完了した。 屋内運動場のトイレ環境整備修繕及び実施設計を完了した。 学校校舎の安全対策修繕及び実施設計を完了した。 学校を含む公共施設について、限られた財源を効果的に活用し、計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要があるが、限られた財源の中、「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」のスケジュールに基づく大規模改修を実施できておらず、進捗が遅れている。 令和5年3月に「盛岡市小中学校水泳プール対応方針」を策定した。 「盛岡市小中学校水泳プール対応方針」でまとめた水泳授業の受入れ対象施設(市有プール施設・民間施設)に対し、対象校の受入れの可否(キャパシティ的観点等)について、改めて確認の上、精査していく必要がある。また、市有プール施設については、施設所管課との調整も必要となる。 |

| 今後の方向性 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの性格や長所等を把握したきめ細やかな幼児教育を提供し、異年齢集団の教育活動の充実とともに、園だよりを中心に保護者への情報発信を図る。 コロナウイルスが5類へ移行となったことにより、アプローチカリキュラムの活用を更に充実させ、幼稚園教育と小学校教育の相互理解と円滑な接続を図るとともに、近隣小学校との交流活動の推進を図る。 園児数の減少により、教育活動が限定されたり、集団生活を通してはぐくむ資質・能力の育成が困難な状況となっていることから、存続や閉園も含めた今後の園の在り方について、保護者や地域住民への説明を継続していく。 市教委学校教育課による研修事業とともに、いわて幼児教育センターの幼児教育専門員訪問支援事業も周知し、園内研修の充実を図ることにより、教員の資質向上に努める。 |
| <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を通して、社会的・職業的自立に向けた総合生活力と人生設計力を育成するとともに、一人一人の自己実現が図られるよう、きめ細かな指導体制を確立する。 キャリア教育の一環として、起業家精神や起業家的資質・能力を育成するための「起業家教育」を教育課程に位置付け、その充実を図る。 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開についての研修を実施し、生徒の意欲が引き出され、学力が向上する授業の改善へとつなげる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ICT活用講座、コミュニティ・スクール講座は、喫緊の課題でもあることから、5年度も開催する。 従来の講座に加えて、今日的課題、教員のニーズを踏まえ、「教育相談」「性教育」に係る講座を開設する。 講座の内容に応じて、各学校の効果的な実践事例を取り上げ、2学期からの教育活動の充実を図る。 県教育委員会が開催する、教育課程説明会や学校行事等の開催期日等について確認しながら、開催する。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用することにより、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備に努めていく。また、「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」の改訂を受け、令和5年3月に改訂した「盛岡市立小中学校校舎安全対策改修計画」及び令和3年7月に改訂した「盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画」に基づき、小中学校施設について集中的に取り組む。 「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りつつ、施設の複合化が円滑に進むよう関係団体、関係部署等と緊密な調整を進めていく。 学校プールの老朽化への対応として、早急な対応が必要と考えられる築年数40年以上のプールが設置されている学校について、令和5年3月に策定した「盛岡市小中学校水泳プール対応方針」に基づき、民間施設の活用、市有プール施設の活用及び大規模改修をそれぞれ進める。 |

【施策評価(令和4年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

| | | |
|----------|--------------------|-----------------|
| 基本目標 | 3 | 人を育み未来につなぐまちづくり |
| 施策 | 18 | 生涯学習の推進 |
| 施策主管部等 | 教育委員会 | |
| 評価責任者 | 渡邊 猛 教育部長 | |
| 評価シート作成者 | 下田 法子 教育委員会事務局教育次長 | |

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

| 施策の目的(総合計画実施計画から転記) | 施策評価全体を踏まえた評価責任者意見 |
|--|--|
| 誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図る。 | 市民の生涯学習の推進を図るため、市民ニーズを適切に捉えた講座等の実施に取り組んでいる。受講者の年代や性別に偏りがあることから、多様化するライフスタイルに対応した学習機会を提供できるよう、創意工夫や改善が必要である。 また、社会教育施設の老朽化が進んでおり、市民の安全・安心な利用に加えて、利便性の高い施設となるよう、必要な修繕や改修、整備を計画的に進める必要がある。 今後も、市民の学習意欲を高められるよう、ソフト・ハード両面から、生涯学習推進のための環境づくりに努める。 |

施策の概要

| 主な取組内容 |
|---|
| 公民館等で、市民ニーズを把握するとともに、コロナウイルス感染症の対策を講じながら、家庭教育支援・青少年教育・成人教育・高齢者教育・芸術文化活動・生涯学習推進・地域連携など、ライフステージ等に応じた幅広いテーマによる学習機会の提供に努めた。 また、利便性の向上や災害時に避難所となる公民館のインフラ整備として、公民館6館(中央、上田、西部、河南、都南、浜民)にWi-Fi等の通信環境整備を行ったほか、市立図書館耐震補強及び大規模改修工事や、飯岡地区公民館等既存施設と都南老人福祉センターの複合化に伴う工事の設計業務に取り組むなど、市民の良好な学習環境の整備に努めた。 |

| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | 意図(対象をどのようにしたいのか) |
|--------------------|-------------------------|
| 市民 | 意欲的に学習活動の取り組む。 |
| 社会教育施設 | 計画的な整備や修繕により良好な環境が保たれる。 |

施策の成果指標の状況・評価

| 実績値の推移 | | | | 進捗の評価 | | 実績値の推移 | | | | 進捗の評価 | |
|--|------|-------|------|---|------|----------|----|-------|--|-------|--|
| 指標① | 単位 | 目指す方向 | | | | 指標② | 単位 | 目指す方向 | | | |
| まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合 | % | ↗ | | △ 遅れが生じている | | | | | | | |
| 当初値(H25) | 40.6 | R1目標値 | 43.9 | R6目標値 | 47.2 | 当初値(H25) | | R1目標値 | | R6目標値 | |
| | | | | <p>・進捗の遅れの要因としては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民の活動自粛や、ライフスタイルの多様化、情報通信機器の発達等による、市民の学び方や社会教育施設に求める学習に対する意識の変化があるものと考えられる。</p> <p>・社会教育施設における学習講座は、市民要望の多い学習テーマ(要求課題)だけでなく、防災や環境など社会的課題の学習テーマ(必要課題)への取組が求められることから、両者のバランスをとりながら意欲的な学びにつながるプログラムを検討する必要がある。</p> <p>・学習活動の機会や時間の確保が難しい勤労青年層の参加者が少ないことが課題であり、ニーズ把握や、講座の開催日時、内容について検討する必要がある。</p> | | | | | | | |

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

| 小 施策 | 成果点・問題点 | 今後の方向性 |
|-------------------|---|--|
| 18-1 社会教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育支援に係る講座の開催、家庭教育情報誌の発行、青少年教育事業の実施、社会教育関係団体への活動支援などにより、市民の学習機会の充実が図られるとともに、中学生や青年のリーダーが育成されている。 学びの循環推進事業では、多彩な講座メニューを用意し、市民の継続的な学習活動に活用されているが、大学教員を講師として派遣する「専門コース」の利活用が少ない。 多彩な講座の開催に努めたが、講座により参加者数に偏りがあるほか、勤労青少年層が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 岩手大学の生涯学習領域と連携強化を図り、市民ニーズの把握と社会的課題へのマッチングについて研究を進め、魅力ある講座等の企画・実施に向け、他大学との連携も視野に入れた検討を進める。 家庭教育支援や青少年教育など社会教育に係る学習機会の充実と団体の育成支援を継続する。 中学生リーダーや青年リーダーの育成を継続する。 |
| 18-2 社会教育施設の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> 利便性の向上や災害時に避難所となる公民館のインフラ整備のため、公民館6館(中央、上田、西部、河南、都南、浜民)のWi-Fi等通信環境整備に取り組んだ。 市立図書館耐震補強及び大規模改修工事、飯岡地区公民館等既存施設と都南老人福祉センターとの複合化に伴う工事の設計業務に取り組んだ。 老朽化の進む社会教育施設の計画的な修繕・改修を進める必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 「公共施設保有最適化・長寿命化実施計画」を踏まえ、また、整合を図りながら、計画の対象外となる施設の設備も含めた計画的な修繕や改修を行うとともに、地域課題や市民ニーズを踏まえた施設整備を推進する。 |